

すみよし

第 66 号

発行所 社会福祉法人 一寿会
仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6
電話 022-379-8030
発行者 理事長 関野 愉

- 住吉台こども園 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
- 仙萩苑(障害者支援施設) 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
- 一寿園(就労継続支援B型事業) 仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
- 長命ヶ丘つくしこども園 仙台市泉区長命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
- 名取みたぞのこども園 名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
- 名取あけぼのこども園 名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和6年2月26日
発行 令和6年2月29日



■名取みたぞのこども園 (p4～p5)

■住吉台こども園 (p2)

- ・三歳未満児「ハッピーデー」
- ・発表会



■長命ヶ丘つくしこども園 (p3～p4)

- ・クリスマス製作
- ・クリスマス誕生会
- ・1月製作活動



■名取みたぞのこども園 (p4～p5)

- ・豆腐作り
- ・芋掘り遠足
- ・クリスマス誕生会



■名取あけぼのこども園 (p5～p6)

- ・運動会
- ・秋の製作



■仙萩苑 (p7)

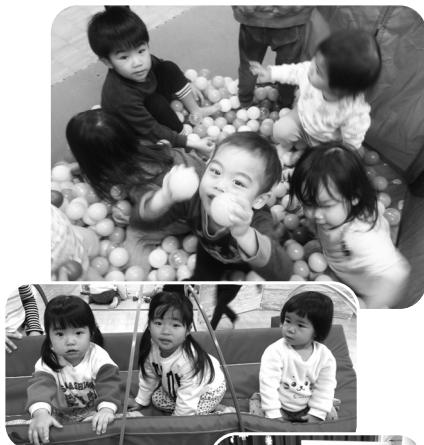
- ・忘年会
- ・新年会



■一寿園 (p8)

- ・木工「卒園アルバム紹介②」





十二月十一日ホールにて三歳未満児クラスのハッピーデーがありました。ホールにおままごとキッチンやテーブルを並べたおままごとコーナー、ひよこ組さんの音の鳴る玩具や積み木の玩具コーナー、ボールプール、フラフープのマットトンネルなど様々な遊ぶコーナーがあり「早く遊びたい！」とワクワク期待を膨らませていた子どもたち。遊び方の説明を聞いてから、好きなコーナーの場所へ移動して思い思ひ遊び始めました。おままごとコーナーでは、おままごとキッチンが大人気!野菜や果物を蛇口の水で洗うまねつ

二歳未満児 「ハッピーデー」



こをしたり、包丁でトントンお野菜を切ったり、出来上がったご馳走をテーブルに運んでみんなでパーティーを楽しむ姿も見られました。二歳児さんが小さいクラスのお友だちに「はいどうぞ」と食べさせてあげる優しい姿も見られました。ひよこ組さんの音の鳴る玩具や積み木コーナーでは音の鳴る玩具に興味津々!異年齢のお友だちはとも貸し借りをしながら順番を使って遊ぶ姿が見られ、異年齢児で関わり合ふことができ、子どもたちも大満足のハッピーデーとなりました。今後も異年齢児交流を通して遊びへの興味・関心を広げ、思いやりの気持ちを育めるようにしていきたいです。

(保育教諭 鈴木 美紗)

十二月十一日ホールにて三歳未満児クラスのハッピーデーがありました。ホールにおままごとキッチンや積み木の玩具コーナー、ひよこ組さんの音の鳴る玩具や積み木の玩具コーナー、ボールプール、フラフープのマットトンネルなど様々な遊ぶコーナーがあり「早く遊びたい！」とワクワク期待を膨らませていた子どもたち。遊び方の説明を聞いてから、好きなコーナーの場所へ移動して思い思ひ遊び始めました。おままごとコーナーでは、おままごとキッチンが大人気!野菜や果物を蛇口の水で洗うまねつ

を切ったり、出来上がったご馳走をテーブルに運んでみんなでパーティーを楽しむ姿も見られました。二歳児さんが小さいクラスのお友だちに「はいどうぞ」と食べさせてあげる優しい姿も見られました。ひよこ組さんの音の鳴る玩具や積み木コーナーでは音の鳴る玩具に興味津々!異年齢のお友だちはとも貸し借りをしながら順番を使って遊ぶ姿が見られ、異年齢児で関わり合ふことができ、子どもたちも大満足のハッピーデーとなりました。今後も異年齢児交流を通して遊びへの興味・関心を広げ、思いやりの気持ちを育めるようにしていきたいです。

十二月二十三日発表会が行われました。インフルエンザが流行したことでの開催となりました。子どもたちは約一ヶ月前から練習を積み重ねてきました。初めはステージで発表することへの不安や緊張が見られましたが、練習を繰り返していくうちに少しずつ慣れて自信をもって発表する姿がありました。発表会当日の朝、子どもたちは笑顔で登園してきました。発表の順番が近づいてくるにつれて、子どもたちの表情も引き締まっていく姿がありました。本番では少しドキドキしながらも、練習の成果を存分に發揮してくれました。発表が終わると笑顔を見せ、達成感に満ち溢れた表情を見せてくれましたよ。発表会の練習に頑張って取り組んできたことは、子どもたちにとって大きな自信に繋がったと思います。今後も踊りや音楽への触れ合いを通して、表現する楽しさを味わえるようにしていきたいと思います。

十二月二十三日発表会が行われました。インフルエンザが流行したことでの開催となりました。子どもたちは約一ヶ月前から練習を積み重ねてきました。初めはステージで発表することへの不安や緊張が見られましたが、練習を繰り返していくうちに少しずつ慣れて自信をもって発表する姿がありました。発表会当日の朝、子どもたちは笑顔で登園してきました。発表の順番が近づいてくるにつれて、子どもたちの表情も引き締まっていく姿がありました。本番では少しドキドキしながらも、練習の成果を存分に發揮してくれました。発表が終わると笑顔を見せ、達成感に満ち溢れた表情を見せてくれましたよ。発表会の練習に頑張って取り組んできたことは、子どもたちにとって大きな自信に繋がったと思います。今後も踊りや音楽への触れ合いを通して、表現する楽しさを味わえるようにしていきたいと思います。

発表会



(保育教諭 相澤 菜々)





十一月に入り、数日に分けてクリスマスの製作を行いました。一日目は、白い丸シールを画用紙に貼って雪の模様をつけました。指先を器用に動かして自分で台紙からシールを剥がすと、一列に並べて貼る子、満遍なく全体に貼る子など一人一人の個性がたくさん見られました。二日目は白で手形を取りサンタの髭に見立て、茶色で足形を取りトナカイの顔を表現しました。手や足に絵の具がつくと「気持ちいい！」

十一月に入り、数日に分けてクリスマスの製作を行いました。一日目は、白い丸シールを画用紙に貼って雪の模様をつけました。指先を器用に動かして自分で台紙からシールを剥がすと、一列に並べて貼る子、満遍なく全体に貼る子など一人一人の個性がたくさん見られました。二日目は白で手形を取りサンタの髭に見立て、茶色で足形を取りトナカイの顔を表現しました。手や足に絵の具がつくと「気持ちいい！」

（保育教諭）及川 紗里香
おいかわ えりか

十一月二十二日、ホールでクリスマス誕生会が行われました。ステージに子どもたちが作った輪飾りを飾り付け、ジングルベルの鈴の音が流れる楽しい雰囲気の中、誕生児さんはサンタの帽子を被ってステージに上がりお祝成した作品を見せてくれました。完成した作品は保育室に飾り、子どもたちと一緒にクリスマスマスの歌を歌いながら、サンタさんが来てくれるのを楽しみに待っていました。

（保育教諭）及川 紗里香
おいかわ えりか

ながら「お顔になつた！」「やりたい！」とこれから行う活動に期待を膨らませている様子でした。保育教諭からシールをもらい、それを貼って自分で顔を完成させると「できた！」と喜んで完成了。作品を見せてくれました。完成した作品は保育室に飾り、子どもたちと一緒にクリスマスマスの歌を歌いながら、サンタさんが来てくれるのを楽しみに待っていました。



給食を食べ、とても楽しいクリスマス会となりました。
（保育教諭）三浦 恵理
みうら えり



クリスマス製作



クリスマス誕生会



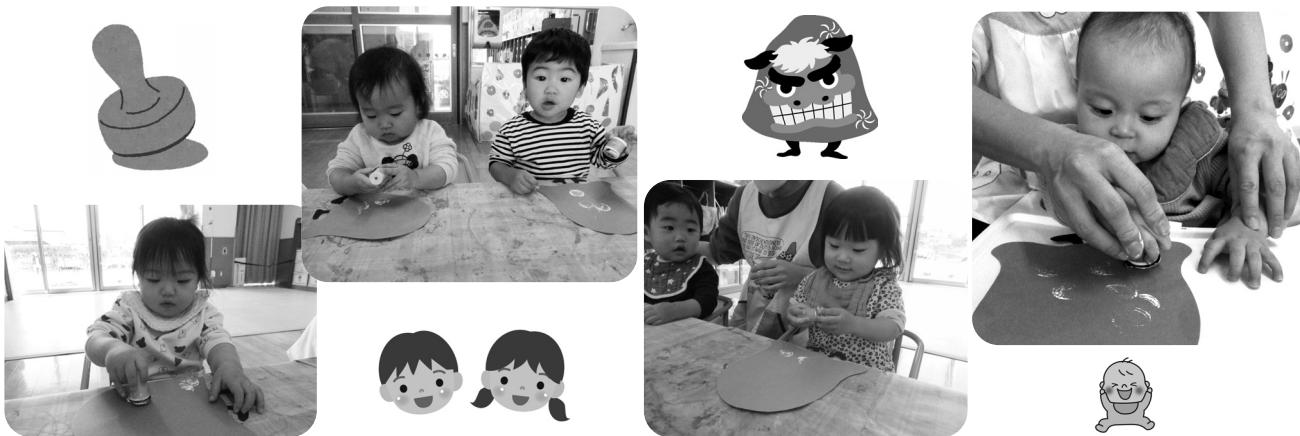
（保育教諭）三浦 恵理
みうら えり

一月製作活動



0歳児クラスで一月の製作活動を行いました。事前に保育教諭がペットボトルのキャップを利用して手を持ちやすい筒状のスタンプを用意しました。スタンプを見せると興味を示し、手を伸ばす姿が見られました。保育教諭がスタンプに絵の具を付けていくと更に期待感が溢れていく姿が見られたので、笑顔で楽しさや喜びと共に感じていました。一緒にスタンプを持ち、獅子舞となる台紙にポンポンと模様を押していくきました。段々と慣れてくると「自分でやってみたい！」という意欲的な姿も見られました。自由に模様を付けていくと満足気な表情を浮かべ、完成を喜びお友だちと一緒に笑い合う姿や「もっとやりたい！」と教えてくれる姿なども見られ、とても成長を感じることができました。今後も製作活動を通して、様々な素材に触れながら季節や自然を感じ、雰囲気を味わえるようにしていきたいと思います。

(保育教諭 佐々木 郁美)



豆腐作り



九月二十六・二十七日の二日間にわたり、五歳児らいおん組の食育活動として豆腐作りを行いました。五月に枝豆の栽培を始め、収穫を楽しみにしていた子どもたち。収穫時期がずれてしまつたことで、茶色に変化した様子を見て「枝豆が枯れちゃったね」「食べられないね」と残念そうに畠を見ていました。しかし、枝豆から他の豆になる様子を見ているうちに「枝豆が変わったね」「枝豆が違うお豆になったね」と話し、収穫した大豆で子どもたちと何が作れるのかを調べ、大豆を全て使いきれる豆腐作りに決まりました。エプロン、三角巾を着けての食育活動が初めてのらいおん組の子どもたちは、栄養士から大豆の話や豆腐の作り方を興味深い様子で聞き、大豆が水で戻され大きくなつたことに驚き、一人一人順番にすり鉢で大豆をつぶし「難しいけど楽しい」「どんどんなつたよ」等、変化を伝えながら初めての体験を楽しみました。栄養士が中心となり豆乳とおからに分け、加熱での変

名取みた子どものこと園



化の様子に驚きながら進めていきました。豆腐が固まるのを待ちながら「どんな風になってるのかな」「美味しい豆腐見て、「大豆ってすごいね」「お豆腐早く食べたいね」と一日目の豆腐作りを楽しみました。翌日、待ちに待った給食では、昨日作った豆腐が入ったお味噌汁を飲み「美味しいね」と大絶賛でした。

(保育教諭
二浦
みうら)

みうら
みき

芋掘り遠足

十月二十五日、宮城県農業高等学校の畑にて四歳児クラスが芋掘りを行いました。バスで友だちと園外へ行くことにワクワクして「こここの近く通ったことがあるよ」「ここ僕のお家の近くですよ」等、沢山お話をしながら向かいました。到着し、バスの側にいる牛を眺めながら、すぐに畑へ移動し芋掘りを始めました。慣れない長靴や軍手、硬い土に初めは「掘るの難しい」「お芋がどこにあるか分からないよ」と戸惑う姿も見られました。しかし、保育教諭がスコップで土を掘り返し始めると「ここにさつま芋あります」と土に埋もれたさつま芋を次々に見つけ、硬い土にも負けず、一生懸命掘る姿が見られました。友だちと協力して大きな一



つの芋を掘ったり、近くの友だちと採れた芋の大きさや形を比べたりと、色々な方法で自然に触れながら、友だちと芋掘りすることを楽しむ姿が見られました。採れたさつま芋を「先生、こんなに大きいのが採れたよ」「いっぱい繋がっているのが採れたよ」と嬉しそうな顔で見せてくれる子どもたちでした。この活動を通して、子どもたちも食材を収穫する大変さを実感することができました。芋掘り遠足を通して学んだ「収穫することの大変さ」だけでなく、食事を作ってくれる人がいることなども日々の保育の中で伝えていき、毎日美味しく食事が出来ることの有り難さを忘れないよう、食育を続けていきたいと思います。

(保育教諭 高橋 実礼)

クリスマス誕生会



十二月二十日にクリスマス誕生会が行われました。保育教諭もサンタの帽子を被り、普段とは少し違った雰囲気の誕生会に、子どもたちからはワクワクした表情が見られました。誕生児へのインタビューでは、恥ずかしそうな表情を見せながらも、好きな遊びを答えていました。その後はピアノの伴奏に合わせ「あわてんぼうのサンタクロース」を元気よく歌ったり、お楽しみでは「赤鼻のトナカイ」のブラックパネルシアターを見たりしました。

部屋を暗くし、ライトで照らすと光って見えるパネルシアターに、子どもたちは「きれい!」「光ってる!」と大喜びでした。音楽が流れてくると一緒に歌ったり手拍子をしたりして楽しむ姿が見られました。誕生会終了後には、三歳児クラスはホールでの会食が行われました。星形の人参が乗ったケチャップライスや唐揚げ、ゼリー等、子どもたちが大好きなものばかりの特別メニューに、沢山の笑顔が見られました。普段は出来ない特別な経験となり、子どもたちにとっても素敵な思い出となりました。

(保育教諭 武藤 茂)

十月十四日、二階園庭にて午前の部は0～二歳児・午後の部は3～5歳児の一部構成で運動会が行われました。リズム体操やかけっこ、パラバルーン等の練習を沢山頑張ってきた子どもたちの願いが通じ、天候に恵まれ青空の下で開催することができました。三歳未満児クラスでは、保育教諭手作りの黄色い衣装に子どもたちが製作で作ったバイナップルを付け、曲に合わせて手を叩いたり体を揺らして笑顔でパインボーリ体操を踊りました。親子競技では保護者の方と一緒に参加し、トンネルをくぐったり蜘蛛のボスを倒したりと年齢に合わせた運動遊びを取り入れたことで親子で楽しむ姿が見られました。三歳以上児リズムでは手首にキラキラポンポンを付け曲に合わせて可愛く踊る姿や障害物競争では鉄棒や跳び箱に挑戦し、失敗しても再びチャレンジする姿に、子どもたちのたくましさを感じました。三、四歳児の玉入りではこれまでの練習の成果を発揮し、最後のお片付け競争も頑張る姿を

十月十四日、二階園庭にて午前の部は0～二歳児・午後の部は3～5歳児の一部構成で運動会が行われました。リズム体操やかけっこ、パラバルーン等の練習を沢山頑張ってきた子どもたちの願いが通じ、天候に恵まれ青空の下で開催することができました。三歳未満児クラスでは、保育教諭手作りの黄色い衣装に子どもたちが製作で作ったバイナップルを付け、曲に合わせて手を叩いたり体を揺らして笑顔でパインボーリ体操を踊りました。親子競技では保護者の方と一緒に参加し、トンネルをくぐたり蜘蛛のボスを倒したりと年齢に合わせた運動遊びを取り入れたことで親子で楽しむ姿が見られました。三歳以上児リズムでは手首にキラキラポンポンを付け曲に合わせて可愛く踊る姿や障害物競争では鉄棒や跳び箱に挑戦し、失敗しても再びチャレンジする姿に、子どもたちのたくましさを感じました。三、四歳児の玉入りではこれまでの練習の成果を発揮し、最後のお片付け競争も頑張る姿を

運動会



見せてくれました。年長児によるカラーフラッグ、パラバルーンではみんなの息を合わせ一つ一つの技をしっかりと成功させていき、技が決まる度に観客席からは拍手が何度も起つっていました。リレーでは最後まで諦めず一生懸命走り、友だちへバトンを渡す姿にとても感動しました。これからも遊びの中に運動を取り入れ、楽しみながら体を動かしていきたいと思います。
(保育教諭 馬場佑美子)

十一月十日に一歳児クラスで、秋の製作「落ち葉リース」を行いました。製作を行うにあたり子どもたちに落ち葉やリースを見せながら説明すると、子どもたちは落ち葉に興味を持ち「これなあに」「やりたい」等の意欲的な姿が見られ製作を始めることができました。最初にリースの形をした紙皿に貼つてある両面テープを剥がすことから行いました。なかなかテープが剥がれず苦戦していましたが、保育教諭が寄り添い一緒に製作を行ふことで、できたという自信や楽しさが表れ、次の作業を楽しみにする姿がありました。次に落ち葉をリースに貼る工程では、好きな落ち葉を選び、自由に飾り付けをしました。思い思いで飾り付けをして個性あふれる作品になりました。最後にデコレーションボールで飾り付けました。カラフルな色に目を輝かせ自由に装飾することができ、オリジナルのリースを完成させることができました。秋の製作を通して、落ち葉に触れ秋を感じながら製作を行うことができました。作業を行う中で保育教諭や友だちと一緒に製作を楽しむ姿や意欲的に取り組む姿が見

秋の製作



られました。今後も子どもたちが楽しまながら、季節を感じることができます。
(保育教諭 今野夢子)





(生活支援員 岸野 健太)



毎年早いもので、忘年会の時期がやってきました。この忘年会、鎌倉時代に開催された「年忘れ」という武士や貴族の歌会を起源とされているようです。それとは関係ないですが、今年もわたくし「仙萩亭健楽」による落語を一席用意しました。お題は「源平の戦い」より弓の名手・那須与一の御噺、終わる頃には皆さんより拍手もあり大変満足いただけました。来年も入居者に楽しんでいただける行事を用意していきたいですね。



(生活支援員 庄司 正広)



一月九日、新年会が開催されました。お部屋を回って入居者との記念撮影、年祝いの発表、お食事会といった内容になりました。写真撮影では、鈴木苑長、山村部長、小野看護主任のご協力のもとでお部屋を回ることができました。入居者一人ひとりと新年の挨拶を交え、笑顔あふれる瞬間を写真に收めることができました。感染症増が懸念され、日中活動が自粛される中、入居者の皆さんに笑顔で楽しんでいただけた新年会となりました。

新年会





木工「卒園」アルバム紹介②



前回に引き続き、一寿園木工部門が手掛けている、こども園の卒園アルバムを紹介していきます。季節も一月に入ってくると、作業は終盤。今回は完成が目前の卒園アルバムの裏表紙を覗いてみましょう。裏には今年の干支である龍がモチーフとなって象られています。龍の下には卒園児の名前が入ります。等間隔にひらがなが配置されていますが、こちらはパソコン部門で文字数に合わせて園児名を配置して下絵を作成しています。

次は細かい仕上げの作業も見ていきましょう。余分な枠組みをカットします。



裏表紙に使用している木の名前



嵌め込んだパーツの隙間が空いてしまった部分には、パテを使い丁寧に穴を埋めていきます。



最後は表面を綺麗に整え、保護の為にニスで塗装をします。写真の台紙を挟み組立て、綴じ紐を付け完成に至ります。卒園児の皆さん、手間暇かかった卒園アルバムがお手元に届くのを楽しみに待っていてくださいね。

(職業指導員 渡辺 寿子)

編集後記

今年2024年は波乱の幕開けとなりました。まさかの元旦に能登半島の大地震。続く2日には羽田空港航空機衝突事故。悲しい出来事に心を痛めた新年でした。暗いニュースもありますが、今年は辰年。架空の生き物である龍に思いを馳せ「天に昇って行く」プラスのイメージを大切にして、今年1年を過ごしていきたいものですね。本年も広報誌「すみよし」をよろしくお願い致します。